

第2章 山形県子ども・若者ビジョンにおける施策体系

1 「山形県子ども・若者ビジョン」における施策体系

計画の柱	基本的方向	施策の方向	基本施策	取組みの方向性
【基本方針】一人ひとりが安心できる環境の中で、自分を大切に、他者と関わりを持ちながら、よりよい社会を共に創りあげていく力を身につけることができるよう、社会全体で子ども・若者の育ちや自立を支援します。				
I 子ども・若者の育成と自立に向けた支援	1 子ども・若者の自己形成支援	(1)日常生活能力の習得	①基本的な生活習慣の形成	a 思いやりの心と規範意識を育む道徳教育や人権教育の充実
				b 「山形らしさ」を活かした社会全体による子育てや家庭教育を支援する取組みの充実
				c 家族の素晴らしさや家庭の大切さを家庭や地域で見つめ直す運動の推進
				d 家庭、学校における男女共同参画を推進する教育と学習の充実
		(2)社会を生きぬく力の育成	②社会を生きぬく力の育成	a 基礎的・基本的な知識・技能の習得・活用を基盤として自ら課題を見つけ、自ら主体的に解決していく探究する力（「確かな学力」）の育成
				b 子どもと異年齢の人々との交流や他者と関わる体験の積み重ねを通じたコミュニケーション能力の育成
				c 身近な消費者問題に目を向け、消費者としての素地を形成するための教育の推進
				d 経済的困難や社会参加に困難を有する者に対する就学支援、学び直し支援、自立支援等学びのセーフティネットの整備
		(2)豊かな心と健やかな体の育成	①豊かな心と健やかな体づくり	a 自分や他人のいのちを大切に育む「いのちの教育」の推進
				b 住んでいる地域、郷土に誇りと愛着を持ち、地域とつながる心の育成
	c 食に関する学習機会や情報提供など、家庭、学校、地域が連携した食育の推進			
	d 「性といのちの学習」の手引きを活用した「いのちの教育」の実践			
	(2)健康と安心の確保	②健康と安心の確保	a 子ども・若者が自らの心を理解し体を守ることができる力の育成	
			b スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の活用など安心して相談できる体制の整備	
			c 子ども・若者の体を守る取組みを支えるキャンペーン等の実施	
			d 子ども・若者の発達に応じた本人や親等への学習機会の提供・相談の充実	
	2 子ども・若者の社会形成・社会参加支援	(3)社会的自立に向けた支援と社会参加の推進	①勤労観・職業観の育成	a 社会的な自立に向け、幼児期から小・中・高等学校を通じた計画的・系統的なキャリア教育の推進
				b 地域企業等との連携のもと、職場見学や体験、中長期に及ぶインターンシップの推進
				c 産学官連携など地域産業に見られる先進的な取組みについて学ぶ教育の推進
				d 子ども・若者の意見の表明、交流機会の確保や意思決定過程への参加の推進
(4)社会の変化に対応し、社会に貢献できる力の育成		①変化に対応する実践的な力の育成	a 伝統文化を継承し、地域社会の発展を担う人材の育成	
			b 家庭や地域、企業・事業所等が連携・協働し、キャリア教育や子どもたちの様々な体験・学習活動を社会全体で支援する取組みの推進	
			c ジュニア・リーダー活動、青少年ボランティア活動の活性化に向けた取組みの推進	
			d 子ども・若者の意見の表明、交流機会の確保や意思決定過程への参加の推進	
3 社会全体で支えるための環境づくり		(5)家庭、学校、地域の連携・協働の推進	①社会全体で子ども・若者を支援する地域づくり	a “いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動など社会全体で子どもの健やかな成長を支援する取組みの展開
				b 家庭、学校、地域が連携・協働し、子ども・若者の様々な体験・学習活動を社会全体で支援する仕組みの構築
	c 学生や若者の力の活用や地域、関係機関・団体等との連携による居場所や様々な活動の場づくりへの支援			
	d 子ども・若者の意見の表明、交流機会の確保や意思決定過程への参加の推進			
	(6)社会環境の健全化の推進	①有害環境対策の推進	a 学校、家庭、地域が連携した地域ぐるみの学校安全体制の整備	
			b 家庭、学校、地域が連携・協働した、交通安全、防犯、消費生活等教育・啓発の推進	
			c 通学路の安全対策、県民の防犯意識の向上など安全安心なまちづくりの推進	
		②安全・安心なインターネット利用の推進	a 青少年健全育成条例に基づく有害図書規制など社会環境健全化の推進	
			b 子どもや若者が危険ドラッグに関わらないよう薬物乱用防止の啓発の推進	
			c サイバートロール等による有害情報に対する適切な対応に向けた取組みの推進	
②安全・安心なインターネット利用の推進	a 子ども・若者、保護者に対するインターネットの安全・安心な利用に関する啓発の推進			
	b 関係機関・業界団体等における自主規制の取組みや啓発活動の推進			
	c 学校における情報活用能力の育成と情報モラルも含めた情報教育の充実			

計画の柱	基本的方向	施策の方向	基本施策	取組みの方向性
------	-------	-------	------	---------

【基本方針】若者が地域とつながり、人とのつながりの中で、持てる力を十分に発揮し、地域、職場、家庭において役割と責任が果たせるよう、若者が県づくりの主体として活躍できる環境づくりを推進します。

II 若者が活躍できる環境づくりの推進	4 若者が活躍できる基盤づくりへの支援	(7) 若者の活躍を推進する機運の醸成	①地域における多様な担い手の育成	a 政策・方針、意思決定過程への若者参画拡大 b 県内の教育機関と連携した若者（高校卒業者）の県内定着や県外進学者の回帰に向けた取組みの推進 c 伝統行事や地域活動の担い手育成のための仕組みづくり
			②若者の多様な活動の情報発信の強化	a 地域活性化に取り組む若者の優れた功績・成果や地道な活動の顕彰 b 若者の活躍を応援するキャンペーン等の展開 c 県内外の若者や学生に対する情報発信の強化と定着支援
		(8) 多様な活動の促進、つながる機会の拡大	①若者の主体的な取組み、多様な活動の促進	a 若者の主体的な活動や活力創出の取組みに対する支援の充実 b 地域課題の解決に取り組むNPOや若者グループの育成と支援 c 地域を題材とした課題解決型の学習機会の提供と人材育成
			②若者・若者グループの交流促進、レベルアップ支援	a 多様な活動を行う若者や若者グループ、学生、移住者等の情報交換、交流、連携、協働の促進 b 若者の主体的な取組みの自主財源化、自立化に向けた支援 c 困難を有する若者の社会参加に向けた若者グループとの交流促進
	5 若者のライフステージに応じた総合的な支援	(9) 若者の職業的自立、就労支援	①就学から就労への円滑な移行に向けた取組みの推進	a 通常の学習環境に困難を有する生徒等の就労に向けた学校と関係機関の連携強化による職業教育・職業訓練と就労支援に向けた取組みの推進 b 就職後の仕事のミスマッチをなくし、早期離職を防ぐため、生徒個々の適性や進路希望に応じ、地域産業界と連携した就職指導の推進 c 若者の県内定着・県内回帰に向けた高校生、大学進学者等に対する県内産業や企業に関する理解向上、就職に関する情報発信の強化
			②若者が活躍できる雇用・就業の場の創出	a 若者の志向に対応した就労の場の確保や起業、マッチングの促進 b 地域資源を活用した若者の雇用につながる新たな就業機会の創出 c 行政、教育、企業、NPO等の連携による若者の県内就職に向けた取組みの推進
			③若者が働きやすい就業環境の整備	a 若者の活躍支援や地域での多様な活動への理解促進、仕事と生活の両立支援に取り組む事業所の普及啓発 b 若者が魅力を感じ安心して働くことのできる労働環境の整備・提供、相談体制の充実 c 就業の意欲や能力の向上と機会の提供等人材育成の推進
		(10) 結婚、子育て、仕事と家庭の両立支援	①結婚、子育て支援の充実・強化	a 結婚観・家庭観の醸成のための将来を見据えたライフデザイン形成支援 b 結婚、出産、子育て期の切れ目のない支援「やまがた」結婚・子育て安心ライフ・サポート」の推進 c ひとり親家庭に対する生活・自立支援の展開
			②仕事と家庭の両立支援の推進	a 両立を支援する保育サービス等の充実 b ワーク・ライフ・バランスのさらなる普及・推進 c 男性の家事・育児参画のさらなる促進



インターネットの安全利用に係る啓発イベント



若者団体の出店（日本一さくらんぼ祭り）

計画の柱	基本的方向	施策の方向	基本施策	取組みの方向性
【基本方針】 困難を有する子ども・若者とその家族が地域に包摂され、困難な状況にあっても希望を持って生活できるよう、地域全体で分野や主体の壁を越えて互いに連携協力し、継続的な支援を実施します。				
Ⅲ 困難を有する子ども・若者や家族への支援	6 様々な状況ごとの相談と支援	(11) ニート、ひきこもり、不登校の子ども・若者の支援	①ニート等の若者への支援	a ニート、ひきこもりの若者の職業的自立のための、それぞれの状況に応じた個別的、継続的支援の実施
			②ひきこもりへの支援	a ひきこもり相談支援窓口「自立支援センター巢立ち」、保健所における相談の充実 b ひきこもりサポーターや訪問支援（アウトリーチ）等の支援に携わる人材の養成
			③不登校の子ども・若者や中退者への支援	a 未然防止、早期発見・早期対応につながる取組みや関係機関等と連携した取組みの推進
				b 高校中退者や不登校経験者等への「学び直し」の機会の充実 c 多様な学習ニーズに対応したより柔軟な教育課程を備えた新しいタイプの学校づくり
		④ニート、ひきこもり、不登校の子ども・若者の支援	a 社会参加に困難を有する子ども・若者や家族が相談しやすい環境づくりと支援体制の確立	
			b ニート、ひきこもり等の若者の自立支援のための社会参加や交流機会の提供	
		(12) 障がいのある子ども・若者の支援	①障がいのある子ども・若者の支援	a 発達障がいのある子ども・若者、家族に対するライフステージに応じた支援や関係する分野が連携した地域支援体制の充実 b 保健、医療、福祉等関係機関と連携した特別支援教育の推進
			(13) 非行・犯罪に陥った子ども・若者の支援	①非行防止・立ち直り支援
		②いじめ・暴力行為への対策		a 学校、家庭、地域が連携したいじめ防止に向けた取組みの推進 b 問題行動を起こす児童生徒への指導や事件を起こした少年に対する適切な取組みの推進
		(14) 子どもの貧困問題への対応、虐待、性犯罪等被害防止	①子どもの貧困問題への対応	a 子どもの貧困問題、貧困の世代間連鎖の解消に向けたスクールソーシャルワーカー活用など、学校を窓口とした福祉機関との連携等による教育の支援、生活の支援、就労支援、経済的支援の推進
			②児童虐待防止対策	a 妊娠、出産から子育てまでの相談しやすい体制の充実 b 発生子防から早期発見、早期対応、適切な保護、アフターケアに至る関係機関間の適切な連携の強化
				③性犯罪等被害への対応
		(15) 外国にルーツを持つ等特に配慮が必要な子ども・若者の支援	①外国にルーツを持つ等特に配慮が必要な子ども・若者の支援	a 外国にルーツを持つ等、特に配慮が必要な子どもの教育の推進
			(16) 総合的な相談・支援体制の確立	①総合的な相談支援体制の確立
		②相談しやすい環境づくり		a 最も身近な支援者となる家族への支援の充実・強化 b 適切な情報提供やともに支え合い学び合う場の提供 c 継続的な周知・広報の取組みを通じた県民理解の促進
	(17) 重層的な子ども・若者支援ネットワークの構築			①主体や分野を超えたネットワークの構築
			②支援者、協力者の養成、確保	a 相談支援機関、団体、NPO等における支援者の養成と支援対応能力の向上 b 民生委員・児童委員等と協働した地域での支援の仕組みづくり c 学生ボランティア、若者グループ等同世代又は年齢の近い世代による支援の仕組みづくり



山形県子ども・若者支援地域協議会



生徒と地域の大人の対話会